

平成 29 年度 長寿の里・南濃 事業報告

【平成29年度重点目標】

- ・ 事業経営を安定的に継続する取り組み
- ・ 部署間や事業所間、地域との連携強化
- ・ 職員の資質及び専門性の向上に向けた取り組み

【各部門事業実績】

〈特別養護老人ホーム〉

1. 地域との連携体制の強化

地域に密着し開けた施設作りを中心に考え、地元の催し物に積極的に参加し、また事業所の活動をより良く知ってもらうために、施設行事に参加してもらったりする事で、地域の一員として受け入れてもらえたように感じる。ボランティアや地域小中学校の職場体験を受け入れる事で、施設内情報を公開できた。

2. 重度化への体制作り

入居者の重度化に伴い入居期間が短くなってきている。また医療的処置も必要となり入院へ直結する場合もある。協力医療機関との連携を図り、看取り介護を周知した事で入院期間は短縮することができた。医療面に対する介護職へのバックアップ体制もでき、介護と看護の協働体制を強固にする事ができた。

3. 専門職の連携を活かした職場作り

外部研修へ積極的に受講する事ができ、復命報告をする事で職員全体への周知ができた。法人内高齢者施設間で研修を行う事で、知識や技術の向上はもちろん、共通認識を持つよい場となった。新採用職員への受け入れや対応はスムーズに行えたが、中途採用者について研修等を計画的に行える体制作りが必要。

4. 安定的経営基盤の確保

平成 29 年度の平均入居稼働率は 96.9%であった。時期的に入院者が重なった事や、新規入居待機者を把握できず入居が後手になってしまった。課題として入居待機者をいかに確保し、スムーズな対応ができる体制作りが必要である。重度要介護高齢者を受け入れたが入居期間が短くなり、平均要介護度の 3.9 であった。

〈ショートステイ〉

1. 利用者への接遇マナー向上

利用中や送迎時等、利用者や家族に対して丁寧な言葉遣いを年間目標として、毎月振り返りができる場を設け意識して行えた。

2. 家族や事業所との連携強化

利用中の様子を、家族や担当ケアマネジャーに情報伝達が密にできた。利用者や家

族のニーズに合わせたケアが行えるよう、現場職員と相談員が連携し個別ケアにあたる事で、計画目標達成に繋がった。

3. 安定的経営基盤の確保

平成 29 年度の平均稼働率 97.5% (特養含む) であった。特養入居者が入院した際の空床をうまく利用ができた。また新規利用者を確実に利用に繋げ、定期的若しくは継続利用に繋がった。

〈デイサービス〉

1. 個別機能訓練の充実

自立した在宅生活を送れるよう、個別性のある訓練が行えるよう機能訓練室を別室とした。訓練場所を別にする事でメリハリが持て、充実した訓練や時間を過ごす事ができた。今後、個別の生活歴に合わせた訓練を計画していく。

2. 利用者中心のサービスの実践

利用者や家族のニーズに合わせたケアが行えるよう、多職種協働で策定した個別サービス計画を実施する事で、利用者が自立した生活に近づく事ができた。個別サービス計画内容の評価やモニタリングが不十分な場面があったので、連続性を持って対応できる体制作りが必要。

3. 安定的経営基盤の確保

平成 29 年度の平均稼働率は 70.5% であった。季節的な利用キャンセルや入院者の見込み違いがあったが、その際の追加利用や、居宅介護支援事業所への継続的な営業ができていなかった。利用者はもちろんケアマネジャーから選ばれる事業所作りが必要。

〈居宅介護支援〉

個人の残存能力や、家族の介護力を見極めてアセスメントを行う事で、その都度必要なサービスが提供でき、安心した在宅生活が継続できるように支援できた。毎週居宅会議を開催することで、各ケアマネが抱えている困難事例をいち早く解決できた。

地域ケア会議へ参加する事で、地域での役割が明確になり、また他事業所との連携もとれ共通認識できた。

〈在宅介護支援センター〉

多職種の参加により、利用者からの相談の幅が広がり、サービスのマンネリ化を防ぐ事ができた。そこからサービスになかなか繋がらなかったため、関わり方の検討が必要。

〈訪問介護〉

利用者個人を尊重したサービスを行う事で信頼関係を構築する事ができた。

サービスを提供するにあたり、多職種間で連携をとる事で専門性の高いサービスが提供できた。今後他のサービスに繋がるよう連携していく必要がある。

入居者の状況

① 市町村別入居状況

市町村別	男	女	計
海津市	8	58	66
養老町	3	20	23
桑名市	0	2	2
大垣市	1	0	1
いなべ市	1	0	1
愛西市	1	0	1
海部郡蟹江町	0	1	1
東海市	1	0	1
名古屋市長区	0	1	1
合計	15	82	97

② 年齢別入居状況

64歳以下	65～74歳	75～84歳	85～94歳	95歳以上	合計	平均年齢	最高年齢	最低年齢
男	0	3	8	1	15	82.6	100	66
女	1	0	14	12	32	88.5	102	57
計	1	3	17	13	37	85.6		

③ 在所期間状況

	1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7年以上	合計
男	7	4	0	1	0	0	0	3	15
女	21	8	7	14	9	9	2	12	82
計	28	12	7	15	9	9	2	15	97
構成比	29%	12%	7%	15%	9%	9%	2%	15%	

④ 要介護度別状況

	1	2	3	4	5	合計
男	0	1	3	6	5	15
女	0	3	24	33	22	82
計	0	4	27	39	27	97

⑤ 平成29年度 年間入退居の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者	3	1	2	1	2	1	1	1	4	2	3	19	
居宅											1		2
老人福祉施設					2				1				3
老人保健施設							3	2		1			6
医療施設													0
グループホーム													0
計	3	1	2	1	4	1	3	3	5	3	4	0	30
退所者	1		1		1		1		1		1	1	7
死亡													1
老人福祉施設					1								1
老人保健施設													0
医療施設			2	1	3	1	6	3	2	2	2	2	24
グループホーム													0
居宅													0
計	3	1	2	3	2	2	1	6	4	2	3	3	32

⑥ 入居者の食事形態の状況

主食・副食	人数
ご飯・普通	31
ご飯・刻み	10
ご飯・極刻み	1
軟飯・普通	5
軟飯・刻み	9
軟飯・極刻み	10
粥・刻み	1
粥・極刻み	13
粥ゼリー・極ヤミ	7
粥ゼリー・ゼリー	1
粥ゼリー・ゼリー(7ト)	3
胃ろう	6
合計	97

⑦ 苦情・相談解決の状況

施設・事業	受付件数	処理件数	未処理件数
待養	9	9	0
ショートステイ	2	2	0
デイサービス	11	11	0
居宅介護支援	2	2	0
訪問介護	2	2	0
合計	26	26	0